

久住の牧野は寒い季節を迎えようとしています。
カヤネズミの地表巣がつくられているのを確認しました。
久住 牧野の博物館 HP 記事 (2016/11)

牧草地は今年 3 回目の刈り取りが終わり、土や積もった枯れ草の上には、エノコログサ、イヌビエ、オオバコ、ギシギシなどの種子が大量に落ちています。その牧草地の間を走る谷の斜面を覆うネザサの中に所々ススキの大株が生えています。その株の中の枯れ葉を床にして地表巣がつくられていました。ススキの茎に巣材の一部が巻かれ、入口が上を向いて開けられていました。

朝晩の気温は時々10℃を割ることもあり、カヤネズミは冬にむけた準備をしているようです。



地表巣が見つかったススキ株



巣の周りのススキ茎の一部は切り取っています